



暮らしや生活に関するご相談などお気軽にお寄せください！

コロナ感染抑止に全力を

無料PCR検査を

第1回定例会でかばさわ議員は代表質疑を行いました。
新型コロナウイルス対策、災害に強いまちづくり、高齢者の
外出支援策について、一部の質疑内容を報告します。

2月17日
代表質疑



●かばさわ議員 1月の感染経路不明割合は67%と深刻な市中感染状況で、市の感染者の約5割が30代以下でもあるため、飲食店街や高齢者施設だけの積極的検査では感染が抑え込めない状況である。県内では市川市、印西市、松戸市など無料PCRや助成を行っており、市川市では既に自宅での唾液PCR採取で2万人を検査、20人の無症状陽性者確認に至り感染抑制に効果を上げている。市民からは「学校のクラスで感染者が出たが、検査してもらえず、心配で自主検査したら陽性だった」など、マスクなしで15分以上の会話等が濃厚接触者要件であるため、行政検査対象にならないという相談が増えている。感染を早期に抑え込むためにも市民が無症状でも無料でPCR検査を受けられるよう体制づくりを急ぐべきだ。

◆保健福祉局長 保育所や学校で感染者が発生した場合は、濃厚接触者に限らず、クラスメートなど感染者との接触が疑われる方についても、幅広く行政検査を実施している。一般市民の無症状者へのPCR検査対象の拡大については、今後の発生状況等を踏まえつつ、実施の是非について検討する。

ワクチン接種は全区で集団接種も実施して迅速な対応を！

千葉市新型コロナウイルスワクチン接種体制について

【1】接種体制

千葉市医師会の協力により、かかりつけ医など身近な医療機関で接種を行う「個別接種」を中心に、補完的に市の公共施設において「集団接種」を実施する体制で進めます。

- (1) 個別接種 ●接種実施医療機関数 約300カ所（令和3年2月24日時点。順次拡充予定。）
- (2) 集団接種 ●日曜日に、千葉中央コミュニティセンターを接種会場として実施します。
場所 千葉中央コミュニティセンター6階体育館 実施時間 9:00～17:00

【2】「千葉市コロナワクチン接種コールセンター」の開設

- (1) 開設日 令和3年3月1日（月）
- (2) 電話番号 0120-57-8970（通話料無料）
- (3) 開設受付時間 8:30～18:00（土曜・日曜・祝日も開設）

接種スケジュール参考

接種開始予定時期	対象者	人数	接種券発送時期（予定）
4月以降	高齢者（65歳以上）	約25万人	3月下旬
以降順次	基礎疾患保有者	約6万人	以降順次
※時期未定	高齢者施設等従事者	約1.5万人	※時期未定
	上記以外の方	約50万人	

日本共産党千葉市議団の討論

集団接種は中央コミュニティセンターの1カ所だけの実施で、接種完了の遅れが危惧される。公共施設の活用や商業施設と連携し、各区でも集団接種会場を設け、必要な人員の確保を行い、迅速な接種体制を構築することを求める。



前進

村田川の護岸復旧工事と水位計整備が進展へ！

●**かばさわ議員** 一昨年の大雨被害で村田川流域では10件の床上・床下浸水の被害が出たことを受け、護岸工事や水位計整備を求めてきたが、どのような対策が講じられてきたのか。

◆**副市長** 越智町から板倉町の区間において、流下阻害となっている堆積した土砂や倒れた竹や木などの撤去を本年3月末までに完了させ、護岸の崩落箇所は、来年度に復旧工事を実施する予定。台風などの非常時において確実な監視体制とするため、洪水時の水位観測に特化した危機管理型水位計を板倉町に設置し、本年6月から運用する。



バス停ベンチ設置推進を！デマンドタクシー運行を！

●**かばさわ議員** コロナ禍で地域公共交通の柱となる路線バスやタクシー事業の利用が減少しており経営支援が必要であるため、財政支援を図り、増便や新たな路線新設が図られるよう取組むべきだがどうか。またバス停やまちなかへのベンチ設置を推進し、外出しやすいまちづくりを進めるべきだが見解を伺う。



土気駅に4基設置

◆**副市長** 収入減のなか運行を継続し続けた路線バス事業者への事業継続支援金など、これまで各種支援を実施してきた。一部の支援事業は、来年度も継続した実施を予定している。また、バス停留所へのベンチ設置は、ベンチの設置に対する一定の支援制度を来年度から開始する予定。なお、駅前広場のバス停留所のベンチは、今年度末までに71か所、全てが完了する予定。さらに、まちなかへのベンチ設置は、今年度よりバリアフリー経路への設置にも着手しており、外出しやすいまちづくりを推進へ計画的に取り組んでいく。

●**かばさわ議員** 高齢者の外出支援となる100円でバスに乗れる外出応援パス制度を創設すること、また地域交通不便地域への新たなモビリティによる運行、タクシー会社と提携した低額で運行できるデマンドタクシー実証実験の取組みが必要と考えるがどうか。

◆**副市長** 外出応援パス制度の創設は、外出が促進され、生きがいや健康の増進などに効果が期待できることは認識している。しかしながら、地域包括ケアシステムの強化や介護サービスの充実等、財政需要への対応が課題となっているため、優先順位を十分考慮しながら有効な施策を検討し、高齢者の暮らしの一層の充実を図っていく。また、公共交通不便地域での取組みは、現在、策定作業を進めている地域公共交通計画における検討の一つとして、市民ワークショップ等による地域における実態調査等を実施していく。なお、第4回千葉県地域公共交通活性化協議会において、「高津戸町北部等」地区をモデル地区として選定した。今後、移動実態やニーズの把握のほか、デマンドタクシー等を含めた様々な交通サービスと、地域特性に即した持続可能な交通サービスの構築に向け、地域の皆様と議論を深めていきたいと考えている。



前進

土気図書室がリニューアル！子どもスペースが拡充へ！

子どもへの読み聞かせスペース等の拡充を求めてきた土気図書室ですが、3月9日にリニューアルオープンしました。



前進

昭和の森トイレがリニューアル！

議会質問でかばさわ議員は昭和の森のトイレ改修を求めてきましたが、現在リニューアル工事が進められています。

第2サイクリングセンター脇トイレは4月から供用開始予定です。

第1駐車場脇のトイレは6月に供用開始予定です。



日本共産党 千葉市議会議員 **かばさわ洋平**

【かばさわ事務所】〒266-0005 緑区誉田町2-24-275 TEL 292-7764 Email takumiuna@gmail.com

【日本共産党千葉市議団】〒260-0026 中央区千葉港1-1(千葉市議会内) TEL 245-5484

